羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合		
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①「単位制の履修形態に満足している」と考える生徒・保護者が90%以上である。	履修ガイドライン及び履修相談の充実のため、研修等で職員の共通理解を図る。	A	A	A	本校の教育課程等について、生徒及び保護者の100%が肯定的である。引き続き、きめ細かな履修相談を実施し、生徒の単位修得を促す。	<ul style="list-style-type: none"> 満足度が90%以上は、とても良い。 十分、特色ある学校づくりに努めている。 今後も、生徒にとって魅力的な学校であってほしい。
		②「自分の学校が好きである」と考える生徒・保護者が80%以上である。	生徒の修学目的が達成できるように、個に応じたサポートをする。	A	A	A	本校について、生徒の95%が好きだと考えており、保護者の98%が本校通信制に入学させて良かったと考えている。引き続き、生徒が安心して通えるような魅力ある学校づくりに努める。	
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業が分かりやすい・適切である」と考える生徒・保護者が90%以上である。	12月に授業アンケートを実施し、生徒の実態に合った授業を工夫する。	A	A	A	スクーリングの実施状況について、生徒の95%、保護者の94%が肯定的である。引き続き、生徒の実態に即した指導の実施に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 色々と工夫を行っている。 十分、生徒の意欲的な学習活動について、適切な指導を行っている。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	④「学力が向上した」と考える生徒・保護者が70%以上である。	主体的・対話的で深い学びの実現を目指して生徒理解に努めるとともに、学習の過程を重視して、自主的・自発的な態度を育む授業に取り組む。	B	A	B	「学力が向上した」と考える生徒は77%、保護者は81%である。概ね、目標値は達成しているが、「もっと自分で考えさせるレポートがあってもよい」という保護者の意見もあった。主体的に対話的な深い学びを心がけ、スクーリング・レポートにさらに工夫をしていきたい。	
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑤全教職員が、重点目標を踏まえた自己目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。	重点目標と学校評価一覧表を連結し、これらに基づいて自己申告書を作成する。	A	A	A	すべての教職員が、教育目標及び学校運営方針等を踏まえて自己目標等を設定し、教育活動を展開している。	<ul style="list-style-type: none"> 色々な意味で、生徒や保護者に寄り添っている。とても良い。 十分、生徒の充実した学校生活について、適切な指導を行っている。 評議員会時に、授業見学を通じて先生方の生徒に対する熱意を感じた。 学習指導も生徒指導も、他の学校より個別対応ができています。 これからの教育の先駆けの存在になることを、期待している。
		⑥生徒に関する情報交換を月2回以上行う。	情報の共有化を図り、統一した指導体制をとる。	A	A	A	引き続き、生徒に関する情報交換を月2回以上行い、きめ細かな指導に役立てる。	
		⑦「交通マナー・交通ルールの遵守を意識している」と考える生徒・保護者が100%である。	「フレックス通信」等で交通マナー・交通ルールの遵守を呼びかけるなどして、生徒の意識を高め、自己啓発を図る。	B	B	B	交通安全について、生徒の100%が「心がけている」、保護者の98%が「子どもは心がけている」と回答している。引き続き、命を大切に指導の徹底に努める。	
		⑧生徒の単位修得率が60%以上である。	学籍管理システムの有効利用を図り、指導に生かし、個々の生徒にきめ細かな指導を行う。	B	B	B	2月上旬の段階では成績が確定しておらず、正確な単位修得率を示すことはできない。しかし、後期テストの受験状況などから、例年通りの修得率になると予想する。次年度も単位修得率の向上に向けて、きめ細かい指導をしていく必要がある。	
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑨「学校は、いじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。	オリエンテーションや集会、フレックス通信等において、いじめ防止に係る方針等を生徒に周知するとともに、いじめの早期発見を心がけ、認知した際は組織で対応し、早期解消に努める。	A	B	B	いじめの防止や早期発見に向けた学校の取組について、生徒の98%、保護者の83%が肯定的である。本年度、いじめの発生は確認されていないが、今後も「いじめ防止基本方針」等に沿って組織的・継続的な対応を行う。	
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩「携帯電話やフレックス通信でいつも学校の情報を確認している」と考える生徒・保護者が90%以上である。	スクーリング実施日に合わせてホームページを更新し、携帯電話等で学校からの連絡が見られるようにする。	A	A	A	「フレックス通信」による情報配信について、生徒の95%、保護者の96%が連絡や情報が伝わっていると回答している。スクーリング実施日に合わせてホームページを更新し、スマホやPC等でも情報が確認できるようにしている。	
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑬「進路指導が信頼できる」と考える生徒・保護者が70%以上である。	進路指導部、年次団、教科が連携して進路指導計画を立案し、体系的な指導を行う。	A	A	A	本校の進路指導について、生徒の93%、保護者の91%が信頼していると回答している。引き続き、生徒の希望に即した指導が実施できるように、全職員が連携して指導していく。	<ul style="list-style-type: none"> 十分、生徒の主体的な進路選択について、適切な指導を行っている。 十分、生徒の主体的な進路選択について、適切な指導を行っている。
		⑭進路情報を年4回以上発信する。	生徒や保護者に有用な情報を提供する。	A	A	A	「フレックス通信」で随時進路情報を発信した。次年度も内容の充実にも努める。	
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮「進路目標の実現に向けて努力している」と考える生徒・保護者が70%以上である。	個別面談等を充実させ、卒業年次生の進路目標の達成を支援する。	A	A	A	将来の夢に向かって努力していると回答した生徒は84%、子どもの夢や志望を知っていると回答した保護者は84%である。卒業年次生を中心に、進路目標の達成に向けた指導の充実を図る。	
	⑯通信制だよりである「フレックス通信」を月2回以上発行する。	保護者にも通信制の様子が伝わるよう多くの情報を提供する。	A	A	A	スクーリング等に合わせて「フレックス通信」を発行し、情報提供に努めている。引き続き、生徒・保護者にとって有用な情報を提供に努める。		
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑰学校（通信制）のホームページを月2回以上更新する。	最新の情報を提供するよう全教職員が心がける。	A	A	A	計画どおりに更新を行っている。引き続き、内容の充実、精選に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 色々と力を入れている。とても良い。 十分、開かれた学校づくりに努めている。
		⑱授業においてICT機器を活用した講座の割合が70%以上である。	PC、書画カメラ等を適切に活用することにより、分かりやすい授業を行う。	C	-	C	ICT機器を使った講座は65%程度であった。必要に応じてICT機器を有効に活用し、分かりやすい授業の実施に努める。	
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑲職員間の情報共有にオンラインを活用している。	オンラインで共有できる情報を精査し、職員会議や打合せの効率化を図る。	A	-	A	オンライン掲示板を活用した打合せ・職員会議を実施している。また、アンケート等にGoogle Formを使用して、業務改善を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化は必要である。 十分、教育のデジタル化に努めている。
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。							